

ウィスコンシン州友好使節団2014 来葉

平成26年11月3日（月）から10日（月）の日程で、ウィスコンシン州友好使節団13名（文化・芸術グループ8名、教育グループ3名、科学・技術グループ2名）が来葉し、千葉県内の各地を精力的に訪問し交流をされました。

8日（土）夕刻より、千葉ウィスコンシン協会では、会員の皆さんとともに、成田市内のホテルにおいて、使節団員、ホストファミリー、ウィスコンシン出身のALTを囲み、フェアウェルパーティーを開催しました。



ダートゥカ団長と高柳常務理事



『日本の祭り in 成田』
に出演（11/8）

この日は、文化・芸術グループの使節団員として来葉した“ガーリック・マスタード・ピッカーズ（ケルト伝統音楽バンド）”が、成田市の市制施行60周年記念『日本の祭り in 成田2014』の2つのステージに出演しました。

日本各地の地域伝統芸能も披露され、素晴らしい交流の機会に恵まれました。

パーティーの司会は、加瀬亮二運営委員が務めました。はじめに、主催者の千葉ウィスコンシン協会の高柳哲夫常務理事から、続いて、ご来賓の板倉正典千葉県総合企画部次長から、使節団員への歓迎と今回の交流に尽力された方々への謝辞とともに、千葉県とウィスコンシン州の友好関係の今後の更なる発展を祈念する旨の挨拶がありました。

これを受け、使節団長のウィスコンシン千葉委員長のダートゥカさんは、1990年の姉妹提携以来、数多くの使節団員やボランティアの皆さんにより、交流が引き継がれ、姉妹都市としての絆が強くなった。この絆が未来へ継承されることを信じている、と語られました。

ホストファミリーの代表として、椿和歌子様に乾杯のご挨拶をいただき、その後、歓談となりました。



乾杯



千葉県民謡協会

パーティーの半ばに、千葉県民謡協会の浅沼社中が、春、夏、秋、冬をテーマに、童謡と民謡をアレンジした8曲を披露。

曲は英語の解説付きで、太鼓、尺八、津軽三味線、三味線の演奏は、会場を盛り上げ、演奏終了後出席者の拍手が鳴りやみませんでした。浅沼社中の皆様、素敵な演奏と唄を有難うございました。

ホストファミリーの方々は、交流が心温まるものになるよう使節団の方々に対し、精一杯のおもてなしをしてくださいました。フェアウェルパーティーでは、お互い、家族のように別れを惜しんでいました。お付き合いが末永く続くよう願っています。



団長を囲んで教育G（左3名）と
科学技術G（右2名）



『ウィスコンシン州・茂原市音楽交流』(11/6)
茂原ウィスコンシン文化交流実行委員会主催

帰国された使節団長のダートウカさんからは、県内各地で素晴らしい交流を経験させていただいた、との感想とともに謝辞がありました。

2014 ウィスコンシン州使節団との交流にご参加又はご協力いただいた方々並びに視察先でご準備又はご対応してくださった方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。